ルワンダ月報（２０２４年８月）

※以下は、明示的に記載されたものを除き、ルワンダ通信局（Rwanda News Agency）の記事のとりまとめ。

１．内政・外政

●１１日、カガメ大統領の大統領就任式が行われた。アフリカ諸国からは１２人の国家元首を含む２４カ国から元首級が参加した。

●１２日、ンドゥフンギレヘ外務大臣は、大統領就任式出席のため当地訪問中のアブデラッティ（Badr ABDELATTY）・エジプト外務大臣とバイ会談を行い、ガレソ・インフラ大臣と共に、交通分野での協力などに関する覚書に署名した。

●１３日、カガメ大統領はエスワティニ王国のムスワティ３世と国防、警察協力、矯正・更生行政、外交・公用パスポート所持者のビザ免除に関する４つの覚書に署名した。

●１４日、カガメ大統領は７月の選挙で選出された８０名の下院議員の宣誓式を主宰した。新議員の女性比率は６３．８％（５１名）であり、世界で最も高い。

●１７日、内閣改造が行われ、ンクリキインハ公共サービス・労働大臣、セバヒジ貿易・産業大臣、ニィリシェマ・スポーツ大臣が新たに任命された。

●２０日、ムサフィリ農業・畜産大臣は、政府が買い手のない米２６，０００トンを購入し、国の学校給食プログラムに配布すると述べた。

●２５日、東京で開催されたＴＩＣＡＤ閣僚会合のマージンで、カバレベ国務大臣は辻外務副大臣とバイ会談を実施し、日ルワンダ関係の更なる強化について議論した。

２．開発協力

●１３日、ルワンダ政府はエジプトが排他的に利用できる物流ゾーン設立のために、タンザニア国境近くの土地を割り当てることを決定した。

３．経済

●４日、東アフリカ開発銀行（EADB）は、ルワンダの中小企業の成長を支援する３，６００万米ドルのプログラムを開始した。

●１３日、農畜産物輸出庁（NAEB）は今後４年間で、樹木の植替えを行いコーヒーの純生産量を３倍にする計画と発表。２０２３年時点で、ルワンダは２０，０６４トンのコーヒーを生産しており、１億１，６００万米ドルの収入を得ている。

●２４日、ルワンダ開発銀行（BRD）は持続可能な開発のためサステナビリティ・リンク債を発行した。本債券の発行により、３００億ルワンダフラン（約３０億円）の調達が見込まれる。